

肥大化したクリトリスを
しごき続けたくない
と制服が触手服になっちゃう呪いを
かけられた女の子の話



おだいぼこより

肥大化したクリトリスをしごき続けたくない、制服が触手服になっちゃう、みたいなのをお願いします！

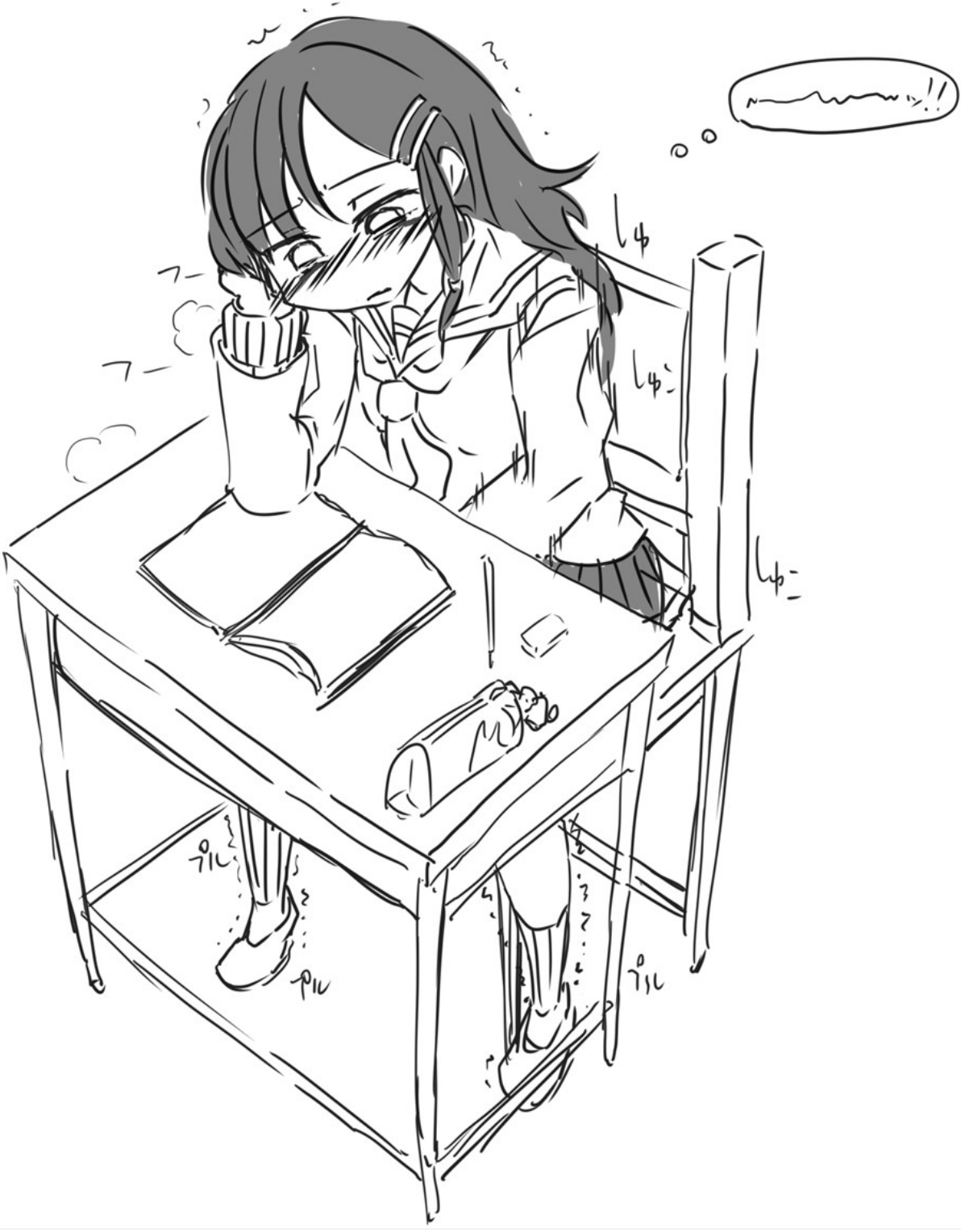


じつは この少女、

4日前に
悪の呪術教団に襲われ

12時間に及ぶ、過激な
肉体改造処置のうえ

エッチな呪いを
かけられてしまっている



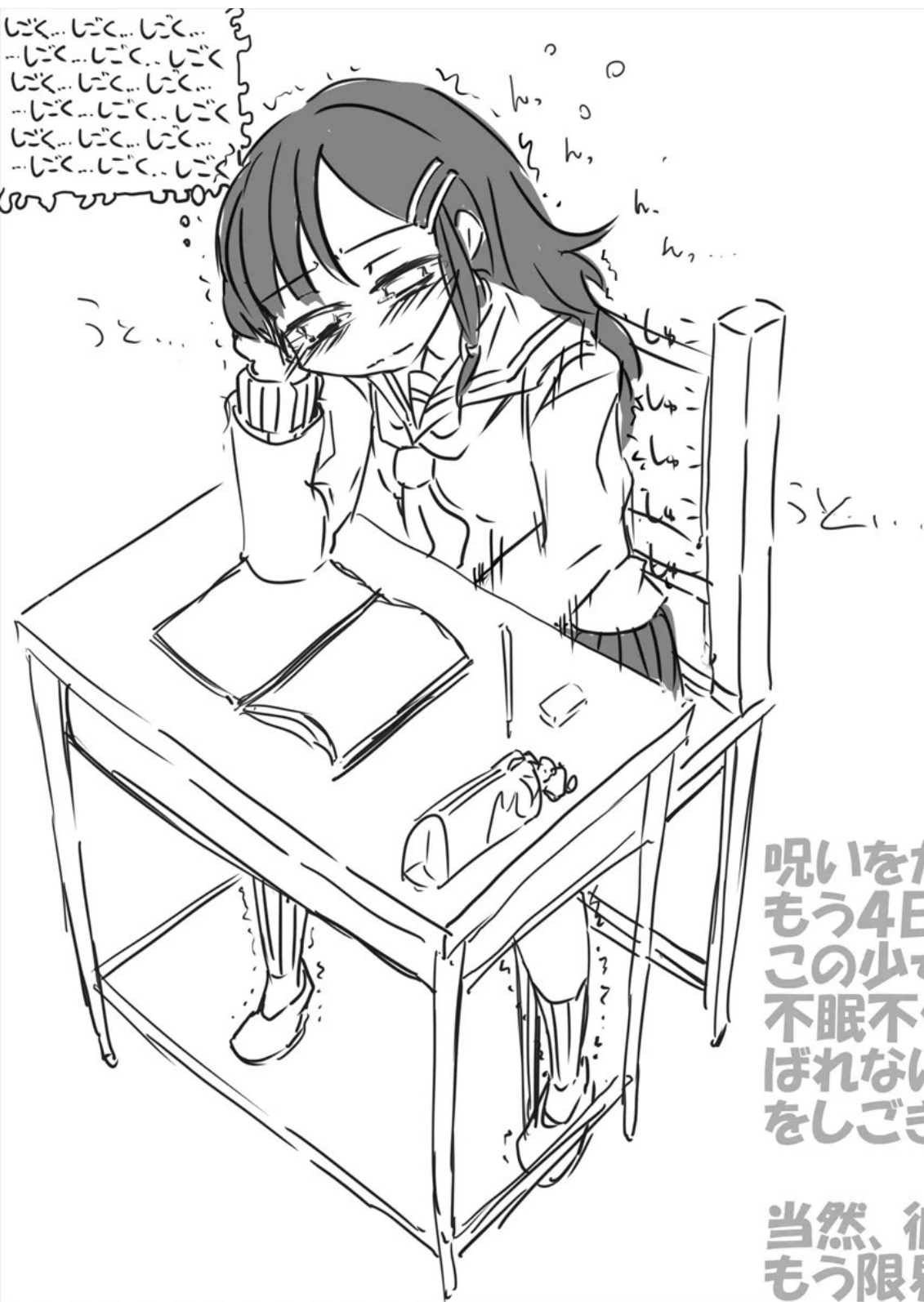
イグ!! イキらつげろ!!! 強スキ!!
キツ!! もつム!! こそだめ!! だめ!!
手を動かさし続けたい!! しゅを
手をつげたい!! クトリスし
続けたい!! ちんごやせし。こんど目
に!! ねえ!! それし。手ももう限界
!! ども。動かしつげなまか
じなま!! じゃあ!! と... 服が
イグ!! ぶあ!! イグ!!



そのエッチな呪いとは

「肥大強化させられた
クトリスを、一時も
休まずしごき続けて
いないと、着ている衣服
が触手服に変化して、
全身を犯されてしまう」

という奇怪極まる
呪いであった。



呪いをかけられたのは
もう4日も前...
この少女、既に3日以上
不眠不休で、誰にも
ばれないようにケトルリス
をしごき続けていた...

当然、彼女の体力は
もう限界であった





だが、少女は手を止める
ワケにはいかなかった

ケが擦り切れるほどに
刺激を強め、無理矢理
意識を保つ

強すぎる激感は少女の
許容限界を遥かに超え
ているが仕方がなかった



少女は、呪いの真の怖さを十分知っていた

解放前に3分間だけ
強制させられた、
触手服の呪いは、少女に
忘れられないトラウマを
植え付けていた

**次あの触手服に犯されたら
2度と正気には戻れない...！**

**そう思わせるほど、
あの触手服の責めは過酷で
官能にすぎるものだったのだ**



3週間後...
少女はまだ、地獄の
ようなケトリスしごき
絶頂快樂地獄を自分に
課し続けていた。

少女は気絶してもケリを
しごき続けていられる
ように陰核用の拷問
パンツに手を出していた



3週間後...
少女はまだ、地獄の
ようなケトリスしごき
絶頂快樂地獄を自分に
課し続けていた。

少女は気絶してもケリを
しごき続けていられる
ように陰核用の拷問
パンツに手を出していた

「今すぐリブリース
しなきゃ再開しなアカ
あ、守らなきゃならぬ
がないと...」



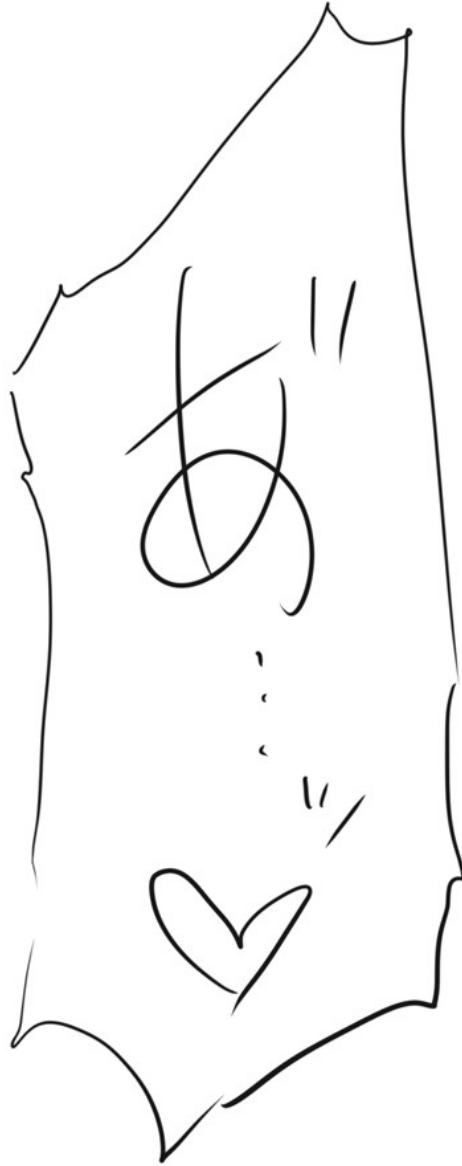
少女はクリの刺激を
再開しなければいけない
そうしないとすぐに服が
触手服になってしまう

しかし皮肉にも、少女の
拷問パンツは外部からの
刺激を防ぐ構造になって
いた



しかし非情にも拷問パンツを脱ぐにはロックを解除する必要があるのだった

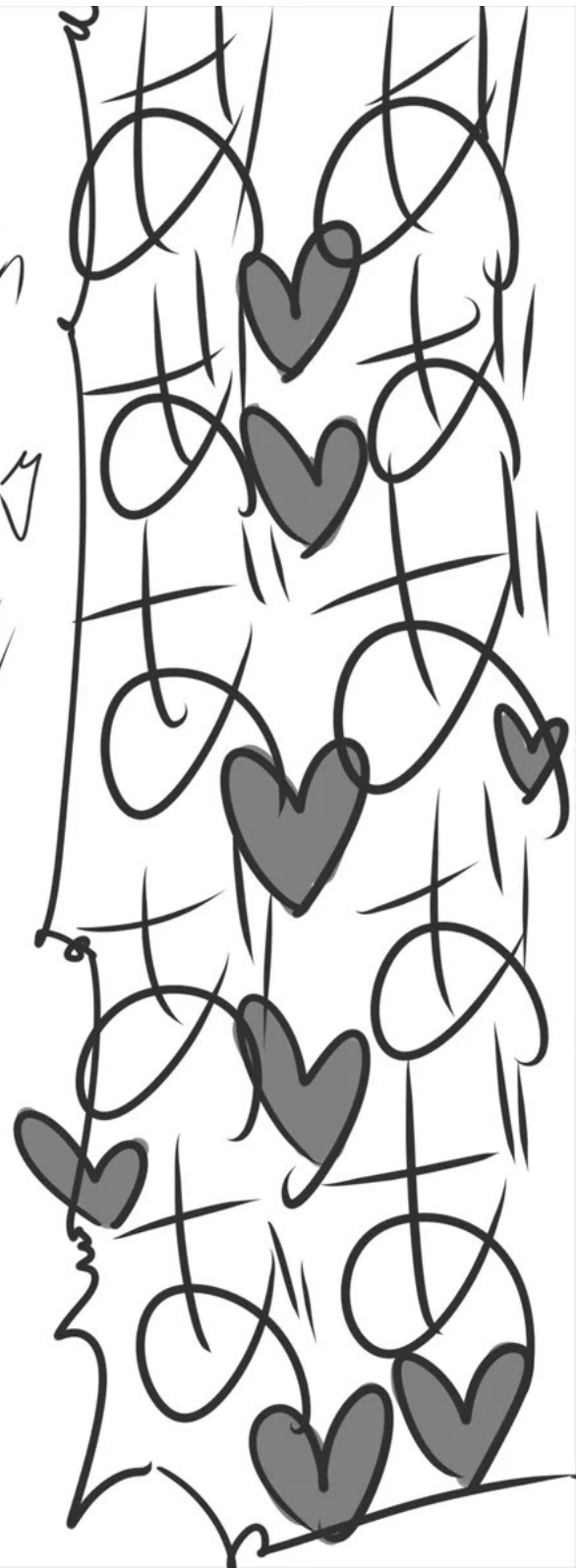
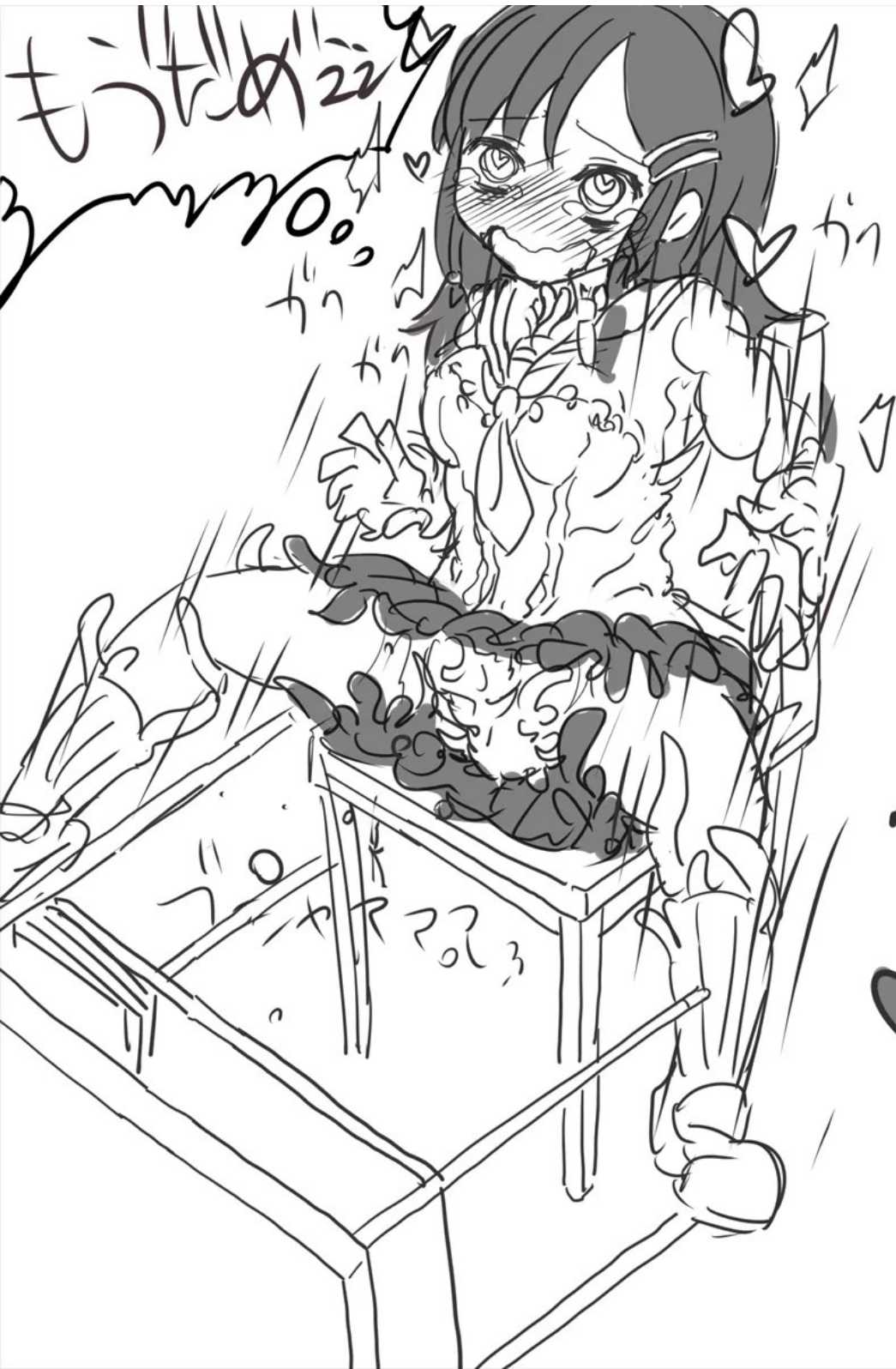
そして致命的な事に、ロックは複雑な手続きを数日かけて踏まねば絶対解除できないようになっていたのだった





あ...この...
ち...ちがひです...
こは...あ...
みは...みは...

ひ...あ...♡これ...ハイス...!!
#、は0!た...!!ぜんんか
はじり...!!♡止まらぬあ
止...止めまき...!!バババも
7!じいて服もた...
パンツも触手化した...
たぬるはず...あいら...せは
し...きでま...!でた...あ
こはの10...この...
ごき...!!あ...あ...!

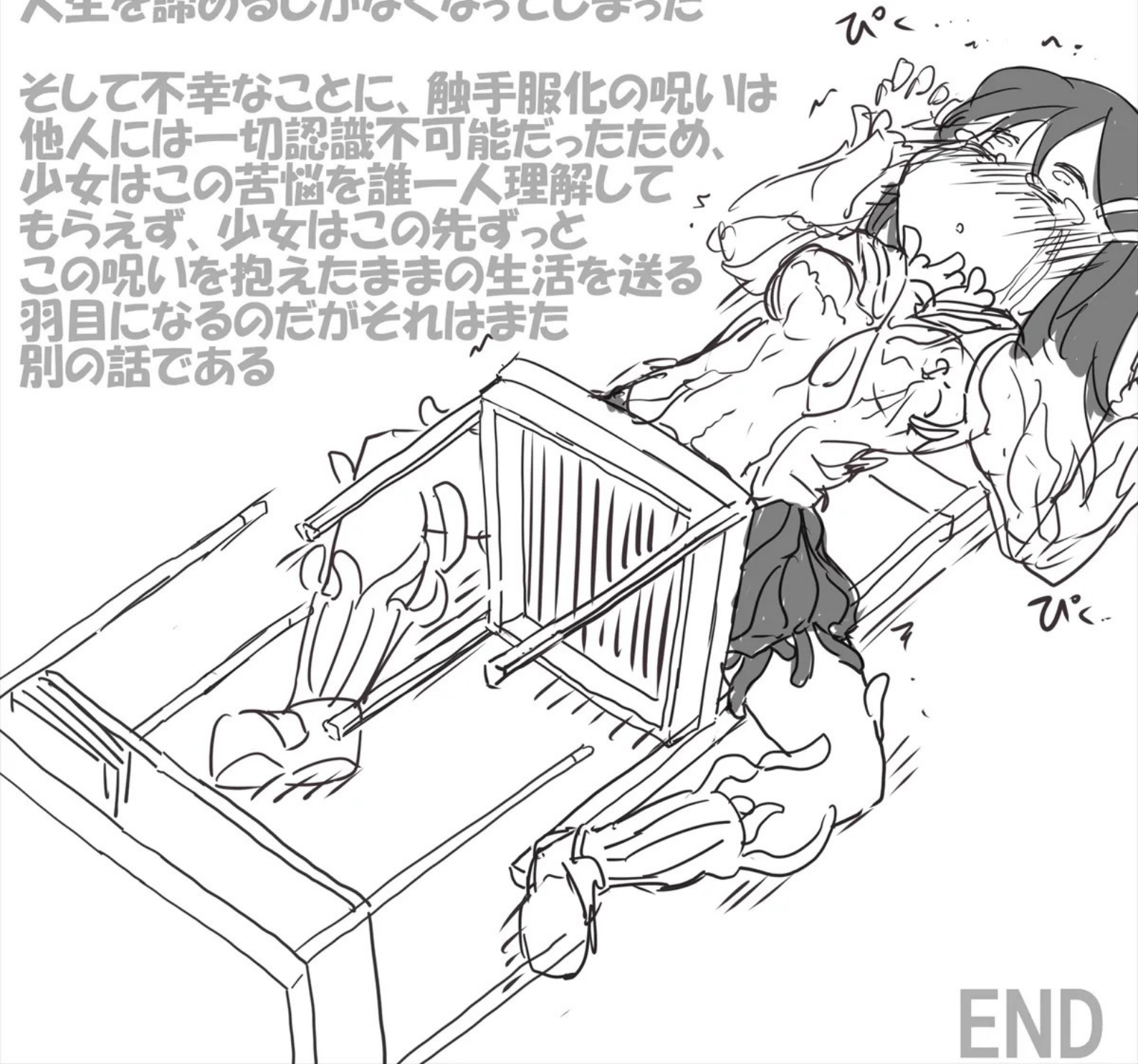




Handwritten signature or initials, possibly reading "HIA" or similar, with a checkmark to the right.

呪いを解く方法を失った少女は、普通の人生を諦めるしかなくなってしまった

そして不幸なことに、触手服化の呪いは他人には一切認識不可能だったため、少女はこの苦悩を誰一人理解してもらえず、少女はこの先ずっとこの呪いを抱えたままの生活を送る羽目になるのだがそれはまた別の話である



END